

(様式)

令和6年度「ふるさとの学び特別賞」 推薦書

令和6年12月2日

学校名	高浜町立和田小学校	校長名	朽木 史昌
-----	-----------	-----	-------

1. 推薦理由	
「地域のよさ」と「課題」は表裏一体。地域の宝である若狭和田の海や浜。そして、安土山などの豊かな自然を内外にアピール（発信）すると共に、そこに隠れている課題を掘り起こし、地域の活性化を進め、地域の持続性を高めるための学習を和田小学校では始めた。3・4・5・6年生が地域（ブルーフラッグアカデミーや和田公民館等）や異校種（若狭高校）と協働・連携し、「探究的なふるさと学習」を展開し、課題解決策や商品化案等の地域への発信・提案を続けている。これは、児童のふるさとへの誇りと愛を育む優れた実践であり、ここに推薦したいと考える。	
2. 活動内容テーマ「地域とつながる探究的なふるさと学習-『WADA』大好きプロジェクト」	
【対象学年、児童生徒数】 3・4・5・6年生93名を中心に、全校児童138名が各学年で活動を展開している。	
【取組内容】	
3年生	「和田のことを知る」そして、「和田のよさを発信する」ことを学習課題として、地元のシンボルである安土山の紹介動画を制作した。また、若狭高校と協働学習を進め、和田浜や海の探索を通して地元の海や浜への理解を深め、QRコードを用いた地域の紹介動画（マップ）を制作している。
4年生	「和田の海は、本当に美しいのか」という「問い」を立て、「WCP（Wada Clean Peace）大作戦」を進めている。その探究活動では、海ゴミや貝殻を用いたアクセサリーの制作、海水を利用したソルトアートづくり、夢ロードやゴミ箱の制作・設置、美しい浜を守るためのポスターづくり、そして、写真スポットづくりと多岐にわたる。2月には、和田公民館に「ゴミ博物館」を開館させる予定。
5年生	地域の「少子高齢化」に対する課題意識を持って学習がスタートした。地域の方と「米づくり（もち米の栽培）」を行い、115kgを超えるもち米の収穫に成功した。今後は、その収穫したもち米を活用し、地域の高齢者への「赤飯配り」を行う予定。また、保護者・地域住民へのプレゼンテーションを通して、もち米の新たな活用方法を提案し創作活動を展開、地域への還元を図る予定。
6年生	「地域を盛り上げる（活性化）」ことを目標として学習活動をスタートさせた。地域のイベント「和田 de 灯音祭」では、「和田浜をキレイにし、ゴミから創る灯り」、「地元の木材店から出る端材や廃材から創った灯り」。そして、「和田の魅力マップ」の3つのグループに分かれて、作品展示やプレゼンテーションを行った。
3. 年間活動実績（12月以降の予定を含む）	
4月	3・4・5・6年生：地域創生交流会（地域の方々との意見交流・課題発見）
5月	5年生：米作り座学・田植え
6月	5年生：案山子製作・設置
7月	4年生：「夢ロードプロジェクト」で和田浜に「夢ロード」を製作・設置。 3年生：若狭高校海洋科学科との協働学習①。和田浜の探索を行う。
9月	6年生：「和田 de 灯音祭」で、3グループが作品の展示及びプレゼンテーションを行う。
10月	4年生：海ゴミや貝殻、海水から採取した塩を用いたアクセサリー製作開始。
11月	3年生：若狭高校海洋科学科との協働学習②。VRを活用し、地元紹介マップを制作。 4年生：和田浜設置用のゴミ箱製作。
12月	5年生：地域の高齢者への赤飯配り。「しめ縄」作り。
2月	4年生：和田公民館で「ゴミ博物館」開館。アクセサリーの商品化。 5年生：和田公民館で「もち米」活用のプレゼンテーション大会。
4. 提出書類リスト	
①	3・4・5・6年生 探究学習の取り組み
②	3・4・5・6年生 探究学習の取り組み（探究ポータル掲載）
③	3年生 安土山の紹介
④	福井新聞「夢ロード」の製作
⑤	4年生 WCP大作戦
⑥	5年生 もち米活用レシピ
⑦	6年生 灯音祭プレゼンテーション